

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
<p style="text-align: center;">② 土工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、施工パッケージによる土工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 掘削</p> <p>(1) 土砂、岩塊・玉石、軟岩、硬岩の掘削</p> <p>(2) 掘削深さが5m以内のバックホウ掘削の場合</p> <p>(3) 陸上掘削でクラムシェルによる水中掘削積込を行う場合</p> <p>(4) 破砕片除去を伴う際は、掘削面と機械基面の高低差が5mまでの場合</p> <p>(5) 軟岩、硬岩の床掘りの場合（軟岩の場合、施工数量が5,000m³未満）</p> <p>1-1-2 土砂等運搬</p> <p>(1) 自工区内の土砂等の運搬</p> <p>(2) 土取場（仮置場）から採取する土砂等の運搬</p> <p>(3) 構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の処分場又は他工区までの運搬</p> <p>(4) 掘削工で生じた残土の処分場又は他工区までの運搬</p> <p>1-1-3 整地</p> <p>(1) 構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地（仮置場）、土取場での整地</p> <p>(2) 作業区分「残土受入れ地での処理」は施工場所が残土処理場の場合に適用する。</p> <p>1-1-4 路体(築堤)盛土</p> <p>(1) 自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路体（築堤）盛土</p> <p>(2) 他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路体（築堤）盛土</p> <p>(3) 土取場（仮置場）で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路体（築堤）盛土</p> <p>(4) 購入土を使用した路体（築堤）盛土</p> <p>1-1-5 路床盛土</p> <p>(1) 自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路床盛土</p> <p>(2) 他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土</p> <p>(3) 土取場（仮置場）で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土</p> <p>(4) 購入土を使用した路床盛土</p> <p>1-1-6 押土(ルーズ)</p> <p>(1) 運搬距離60m以下の押土による土砂等の運搬作業の場合</p> <p>(2) 運搬距離30m以下の岩掘削後の集積用押土の場合</p> <p>1-1-7 積込(ルーズ)</p> <p>(1) 土取場（仮置場）から採取する場合の土砂等の積込み</p> <p>(2) 仮置きされた土砂等の積込み</p> <p>(3) 破砕片除去の場合</p> <p>1-1-8 人力積込</p> <p>(1) 仮置きされた土砂等の人力による積込み</p> <p>1-1-9 転石破砕</p> <p>(1) 道路、河川工事等の岩掘削に伴う転石破砕</p> <p>1-1-10 土材料</p> <p>(1) 道路土工、河川土工における土材料（現場渡し単価又は土場渡し単価）を購入する場合</p> <p>1-1-11 残土等処分</p> <p>(1) 残土運搬された土砂等の残土の処分場での処分</p> <p>(2) 泥水運搬された汚泥、泥水等の受入れ地での処分</p> <p style="text-align: right;">1・②・1</p>			
		<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>次頁へ移動</p>	<p>記載の変更</p> <p>記載の削除</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/23

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
<p>1-2 適用出来ない範囲（土木工事標準積算基準書等により別途計上するもの）</p> <p>1-2-1 掘削</p> <p>(1) 海上・水上作業におけるクラムシェル水中掘削積込</p> <p>(2) クラムシェルによる床掘り（作業土工）</p> <p>(3) 深礎工，鋼管矢板基礎工，共同溝工，地すべり防止工におけるクラムシェル掘削積込</p> <p>(4) 河川堤防に布設する光ケーブル配管工事の掘削（土の状態を問わない）を行う場合</p> <p>(5) 掘削（砂防）</p> <p>(6) 情報ボックス工の設置工事の掘削</p> <p>(7) 掘削（トンネル工）</p> <p>(8) 電線共同溝工事における掘削</p> <p>(9) 砂防，ダム，トンネルの本体工事の岩掘削及び水中掘削</p> <p>(10) 3D-MG又はMCバックホウによる土砂，岩塊・玉石の掘削積込</p> <p>(11) 3D-MG又はMCバックホウによる土砂の片切掘削</p> <p>1-2-2 土砂等運搬</p> <p>(1) 土砂等運搬（砂防）</p> <p>(2) 河床等沈殿物，底沼等軟弱土を除去した後の運搬作業</p> <p>(3) 機械運搬が使用出来ない箇所での人力運搬</p> <p>1-2-3 整地</p> <p>(1) 締固めを含む場合</p> <p>(2) 硬岩の場合</p> <p>1-2-4 路体（築堤）盛土</p> <p>(1) 路床盛土工</p> <p>(2) 3D-MG又はMCブルドーザによる土砂等を使用した路体（築堤）盛土</p> <p>1-2-5 路床盛土</p> <p>(1) 凍上抑制層を有する場合</p> <p>(2) 路体盛土工</p> <p>(3) 3D-MG又はMCブルドーザによる土砂等を使用した路床盛土</p> <p>1-2-6 押土（ルーズ）</p> <p>(1) 地山の掘削を伴う押土の場合</p> <p>1-2-7 積込（ルーズ）</p> <p>(1) 地山を掘削した土砂等を直接運搬車両等に投入する場合</p> <p>(2) 積込（ルーズ）（砂防）</p> <p>(3) 人力による積込み</p> <p>1-3 適用出来ない範囲（別途考慮するもの）</p> <p>1-3-1 土砂等運搬</p> <p>(1) 自動車専用道路を利用する場合</p> <p>(2) 運搬距離が60kmを超える場合</p> <p style="text-align: right;">1・②・2</p>	<p style="text-align: center;">前頁から移動 →</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">→</p>	<p>1-1-10 残土等処分</p> <p>(1) 残土運搬された土砂等の残土の処分場での処分</p> <p>(2) 泥水運搬された汚泥，泥水等の受入れ地での処分</p> <p>1-2 適用出来ない範囲（土木工事標準積算基準書等により別途計上するもの）</p> <p>1-2-1 掘削</p> <p>(1) 海上・水上作業におけるクラムシェル水中掘削積込</p> <p>(2) クラムシェルによる床掘り（作業土工）</p> <p>(3) 深礎工，鋼管矢板基礎工，共同溝工地すべり防止工におけるクラムシェル掘削積込</p> <p>1-3 適用出来ない範囲（別途考慮するもの）</p> <p>1-3-1 土砂等運搬</p> <p>(1) 自動車専用道路を利用する場合</p> <p>(2) 運搬距離が60kmを超える場合</p> <p>1-3-2 転石破碎</p> <p>(1) 道路，河川工事等の岩掘削に伴う転石破碎</p>	<p style="text-align: center;">記載の変更</p> <p style="text-align: center;">記載の追加</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 2/23

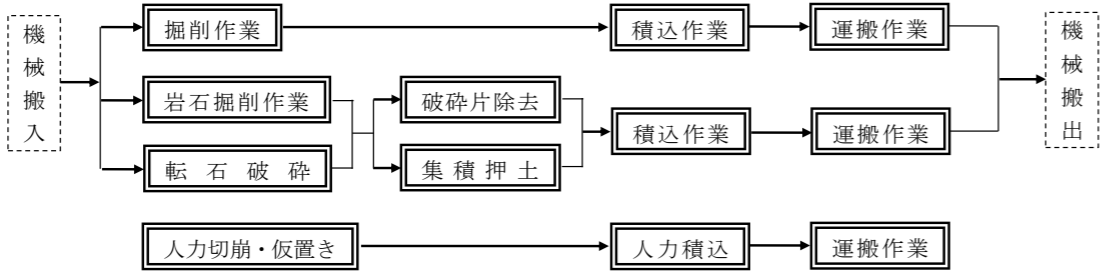
改正理由	一部改正	改正 ----- 現行	
------	------	-------------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

2. 施工概要

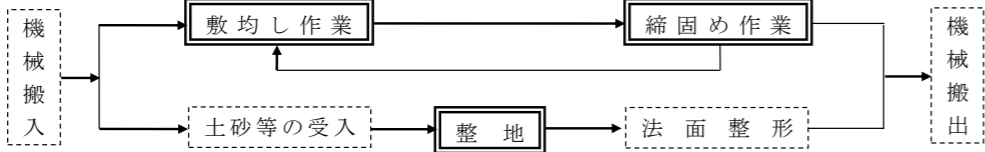
2-1 施工フロー

2-1-1 「掘削」、「転石破碎」、「押土（ルーズ）」「積込（ルーズ）」、「人力積込」、「土砂等運搬」



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
 2. 破砕片除去、集積押土は必要な場合計上する（岩石（軟岩、硬岩）掘削においては条件区分「有」を選択し、転石破碎においては「積込（ルーズ）」又は「押土（ルーズ）」を別途計上する）。
 3. 積込み、運搬は必要な場合計上する（積込みについては表「(参考) ダンプトラックによる土砂等運搬時に積込（ルーズ）の計上が必要な掘削の積算条件」による）。
 4. 人力切崩は現場制約有り（機械施工が出来ない箇所の人力施工）に適用する。
 5. 各作業の対象となる施工パッケージは「2-2 土の流れ概念図及び対応施工パッケージ」による。

2-1-2 「路体(築堤)盛土」、「路床盛土」、「整地」



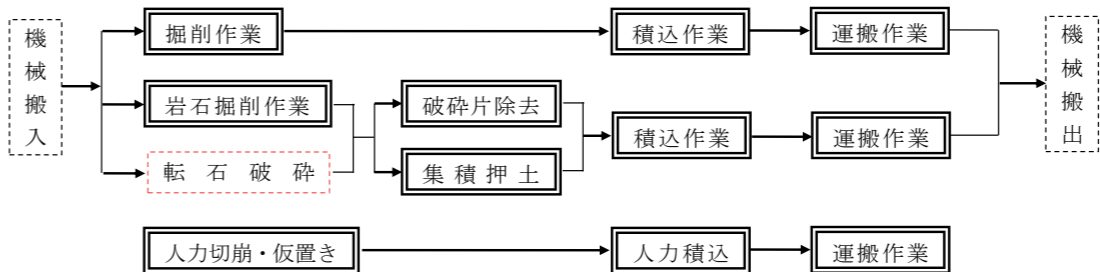
- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
 2. 残土受入れ地での整地は、土砂、岩塊・玉石、軟岩、中硬岩にかかわらず適用出来る。

1・②・3

2. 施工概要

2-1 施工フロー

2-1-1 「掘削」、「~~転石破碎~~」、「押土（ルーズ）」「積込（ルーズ）」、「人力積込」、「土砂等運搬」



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
 2. 破砕片除去、集積押土は必要な場合計上する（岩石（軟岩、硬岩）掘削においては条件区分「有」を選択し、~~転石破碎~~においては「積込（ルーズ）」又は「押土（ルーズ）」を別途計上する。

現行どおり

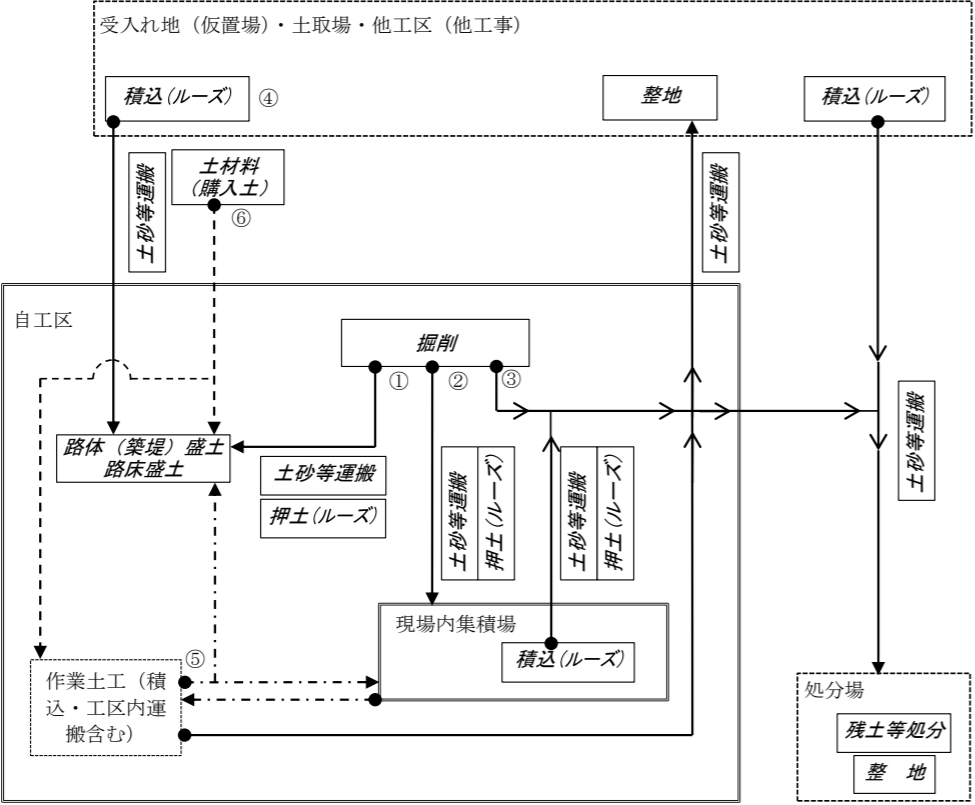
記載の変更

積算上の注意事項		(控え頁) 3/23
----------	--	---------------

改正理由	一部改正	改正 ----- 現行	
------	------	-------------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

2-2 土の流れ概念図及び対応施工パッケージ
(1) 道路土工, 河川土工等



- 凡例
- * **掘削**等施工パッケージ名称を斜体で示した。
 - * **土砂等運搬**, **押土(ルーズ)**を実線で示した。
 - * **土材料**(購入土)は通常現場着単価であり運搬は**土材料**に含まれるため破線で示した。(図中⑥)
 - ただし, **土材料**(購入土)を土場渡し単価で積算する場合は**土砂等運搬**を計上する。
 - * 作業土工(積込・工区内運搬含む)における土の流れを一点鎖線で示した。(図中⑤)

- (注) 1. **掘削**に含まれる自工区内の運搬について (図中①, ②)
- (1) 土質が土砂, 岩塊・玉石の場合
 - ・**掘削**において, 押土「有り」を選択した場合, 60m以内の工区内運搬を含む。
 - (2) 土質が軟岩又は硬岩の場合
 - ・**掘削**において, 以下の条件を選択した場合, 30m以内の工区内運搬を含む。
 - 【「軟岩」で施工数量「5,000m³以上」又は集積押土「有り」を選択した場合
 - 【「硬岩」で火薬使用「可」又は集積押土「有り」を選択した場合
2. 土砂等運搬時の積込作業について (図中①~③)
- ・**掘削**において, 条件区分により積込作業を含まない場合がある。
 - ・**積込(ルーズ)**を別途計上する必要がある条件区分は, 「(参考) ダンプトラックによる土砂等運搬時に**積込(ルーズ)**の計上が必要な掘削の積算条件」参照のこと。
3. 地山状態の土を掘削する場合は, **掘削**を使用する。(図中④)

1・②・5

現行どおり

(2) 土質が軟岩又は硬岩の場合

- ・**掘削**において, 以下の条件を選択した場合, 30m以内の工区内運搬を含む。
- 【「軟岩」: 施工数量「7,000m³以上」又は**集積押土「有り」**を選択した場合
- 施工数量「5,000m³以上7,000m³未満」かつ平均施工幅員「20m以上」を選択した場合
- 【集積押土「有り」を選択した場合
- 【「硬岩」: 施工方法「オープンカット」かつ火薬使用「可」を選択した場合
- 【集積押土「有り」を選択した場合

2. 土砂等運搬時の積込作業について (図中①~③)

- ・**掘削**において, 条件区分により積込作業を含まない場合がある。
- ・**積込(ルーズ)**を別途計上する必要がある条件区分は, 「(参考) ダンプトラックによる土砂等運搬時に**積込(ルーズ)**の計上が必要な掘削の積算条件」参照のこと。

3. 地山状態の土を掘削する場合は, **掘削**を使用する。(図中④)

記載の変更

積算上の注意事項			(控え頁) 4/23
----------	--	--	---------------

改正理由	一部改正	改正 ----- 現行	
------	------	-------------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(参考) ダンプトラックによる土砂等運搬時に積込(ルーズ)の計上が必要な掘削の積算条件

掘削									
積算条件									
土質	施工方法	岩質	押土の有無	障害の有無	施工数量	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	積込(ルーズ)
土砂	オープンカット	-	有り	-	※1	-	-	-	要
			無し	※1	※1	-	-	-	不要
	片切掘削	-	-	-	-	-	-	-	要
	現場制約あり	-	-	-	-	-	-	-	不要※2
	水中掘削	-	-	-	-	-	-	-	不要
上記以外(小規模)	-	-	-	※1	-	-	-	-	不要
岩塊・玉石	オープンカット	-	有り	-	※1	-	-	-	要
			無し	※1	※1	-	-	-	不要
	水中掘削	-	-	-	-	-	-	-	不要
現場制約あり	-	-	-	-	-	-	-	不要※2	
軟岩	※1	-	-	-	※1	-	※1	※1	要
硬岩	※1	-	-	-	-	※1	※1	※1	要

(注) 1. 表中「※1」は積算条件の区分の記載を省略している。
2. 表中「※2」は人力積込の計上が必要となる。

1・②・6

(参考) ダンプトラックによる土砂等運搬時に積込(ルーズ)の計上が必要な掘削の積算条件

掘削										
積算条件										
土質	施工方法	岩質	押土の有無	障害の有無	施工数量	平均 施工 幅員	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	積込(ルーズ)
土砂	オープンカット	-	有り	-	※1	-	-	-	-	要
			無し	※1	※1	-	-	-	-	不要
	片切掘削	-	-	-	-	-	-	-	-	要
	現場制約あり	-	-	-	-	-	-	-	-	不要※2
	水中掘削	-	-	-	-	-	-	-	-	不要
上記以外(小規模)	-	-	-	-	※1	-	-	-	-	不要
岩塊・玉石	オープンカット	-	有り	-	※1	-	-	-	-	要
			無し	※1	※1	-	-	-	-	不要
	水中掘削	-	-	-	-	-	-	-	-	不要
現場制約あり	-	-	-	-	-	-	-	-	不要※2	
軟岩	※1	-	-	-	※1	※1	-	※1	※1	要
硬岩	※1	-	-	-	-	-	※1	※1	※1	要

(注) 1. 表中「※1」は積算条件の区分の記載を省略している。
2. 表中「※2」は人力積込の計上が必要となる。

記載の変更

積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	一部改正	改正 ----- 現行	
------	------	-------------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

3. 施工パッケージ
3-1 掘削
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3.1 掘削 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)

土質	施工方法	押土の有無	障害の有無	施工数量	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無
土砂	オープンカット	有り	-	普通土30,000m3未満 又は湿地軟弱土	-	-	-
				普通土30,000m3以上	-	-	-
		無し	無し	5,000m3未満	-	-	-
				5,000m3以上 10,000m3未満	-	-	-
				10,000m3以上 50,000m3未満	-	-	-
				50,000m3以上	-	-	-
				5,000m3未満	-	-	-
				5,000m3以上 10,000m3未満	-	-	-
		有り	無し	10,000m3以上 50,000m3未満	-	-	-
				50,000m3以上	-	-	-
	5,000m3未満			-	-	-	
	5,000m3以上 10,000m3未満			-	-	-	
	片切掘削	-	-	-	-	-	-
	水中掘削	-	-	-	-	-	-
現場制約あり	-	-	-	-	-	-	
上記以外 (小規模)	-	-	標準(※1)	-	-	-	
			標準以外(※2)	-	-	-	
岩塊・玉石	オープンカット	有り	-	普通土30,000m3未満 又は湿地軟弱土	-	-	-
				普通土30,000m3以上	-	-	-
		無し	無し	5,000m3未満	-	-	-
				5,000m3以上 10,000m3未満	-	-	-
				10,000m3以上 50,000m3未満	-	-	-
				50,000m3以上	-	-	-
				5,000m3未満	-	-	-
				5,000m3以上 10,000m3未満	-	-	-
		有り	無し	10,000m3以上 50,000m3未満	-	-	-
				50,000m3以上	-	-	-
	5,000m3未満			-	-	-	
	5,000m3以上 10,000m3未満			-	-	-	
	水中掘削	-	-	-	-	-	-
	現場制約あり	-	-	-	-	-	-

1・②・7

3. 施工パッケージ
3-1 掘削
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3.1 掘削 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)

土質	施工方法	押土の有無	障害の有無	施工数量	平均 施工 幅員	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無
土砂	オープンカット	有り	-	普通土30,000m3未満 又は湿地軟弱土	-	-	-	-
				普通土30,000m3以上	-	-	-	
		無し	無し	5,000m3未満	-	-	-	
				5,000m3以上 10,000m3未満	-	-	-	
				10,000m3以上 50,000m3未満	-	-	-	
				50,000m3以上	-	-	-	
				5,000m3未満	-	-	-	
				5,000m3以上 10,000m3未満	-	-	-	
		有り	無し	10,000m3以上 50,000m3未満	-	-	-	
				50,000m3以上	-	-	-	
	5,000m3未満			-	-	-		
	5,000m3以上 10,000m3未満			-	-	-		
	片切掘削	-	-	-	-	-	-	
	水中掘削	-	-	-	-	-	-	
現場制約あり	-	-	-	-	-	-		
上記以外 (小規模)	-	-	標準(※1)	-	-	-		
			標準以外(※2)	-	-	-		
岩塊・玉石	オープンカット	有り	-	普通土30,000m3未満 又は湿地軟弱土	-	-	-	
				普通土30,000m3以上	-	-	-	
		無し	無し	5,000m3未満	-	-	-	
				5,000m3以上 10,000m3未満	-	-	-	
				10,000m3以上 50,000m3未満	-	-	-	
				50,000m3以上	-	-	-	
				5,000m3未満	-	-	-	
				5,000m3以上 10,000m3未満	-	-	-	
		有り	無し	10,000m3以上 50,000m3未満	-	-	-	
				50,000m3以上	-	-	-	
	5,000m3未満			-	-	-		
	5,000m3以上 10,000m3未満			-	-	-		
	水中掘削	-	-	-	-	-	-	
	現場制約あり	-	-	-	-	-	-	

記載の変更

改正理由	一部改正	改正	
		現 行	

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

土質	施工方法	押土の有無	障害の有無	施工数量	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	
軟岩	オープンカット	-	無し	1,000m3未満	-	無し	無し	
						有り (50,000m3未満)	有り (5,000m3未満)	
						有り (50,000m3以上)	無し	
				1,000m3以上 5,000m3未満	-	無し	無し	
						有り (50,000m3未満)	有り	
						有り (50,000m3以上)	無し	
	5,000m3以上	-	-	-				
			無し	無し				
			有り (50,000m3未満)	有り				
	片切掘削	-	-	-	-	-	無し	無し
							有り (50,000m3未満)	有り
							有り (50,000m3以上)	無し
無し							無し	
有り (50,000m3未満)							有り	
有り (50,000m3以上)							無し	
硬岩	オープンカット	-	無し	-	不可	無し	無し	
						有り (50,000m3未満)	有り	
						有り (50,000m3以上)	無し	
				-	可	-	-	
						無し	無し	
						有り (50,000m3未満)	有り	
	片切掘削	-	-	有り	-	不可	無し	無し
							有り (50,000m3未満)	有り
							有り (50,000m3以上)	無し
							無し	無し
							有り (50,000m3未満)	有り
							有り (50,000m3以上)	無し



土質	施工方法	押土の有無	障害の有無	施工数量	平均施工幅員	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	
軟岩	オープンカット	-	無し	1,000m3未満	-	-	無し	無し	
							有り (50,000m3未満)	有り (5,000m3未満)	
							有り (50,000m3以上)	無し	
				1,000m3以上 3,000m3未満	-	-	無し	無し	
							有り (50,000m3未満)	有り	
							有り (50,000m3以上)	無し	
	3,000m3以上 5,000m3未満	-	-	無し	無し				
				有り (50,000m3未満)	有り				
				有り (50,000m3以上)	無し				
	片切掘削	-	-	有り	-	-	-	無し	無し
								有り (50,000m3未満)	有り
								有り (50,000m3以上)	無し
無し								無し	
有り (50,000m3未満)								有り	
有り (50,000m3以上)								無し	

次頁へ移動

積算上の注意事項		(控え頁)	7/23
----------	--	-------	------

改正理由	一部改正	改正	
		現行	

現行	改正	備考
----	----	----

--

前頁から移動 →

土質	施工方法	押土の有無	障害の有無	施工数量	平均施工幅員	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	
硬岩	オープンカット	-	無し	-	-	不可	無し	無し	
								有り (5,000m3未満)	
							有り (5,000m3以上)	無し	
							有り (5,000m3以上)	無し	
	片切掘削	-	-	有り	-	-	不可	無し	無し
									有り (5,000m3未満)
								有り (5,000m3以上)	無し
								有り (5,000m3以上)	無し
片切掘削	-	-	-	-	-	可	無し	無し	
								有り (5,000m3未満)	
							有り (5,000m3以上)	無し	
							有り (5,000m3以上)	無し	

記載の変更

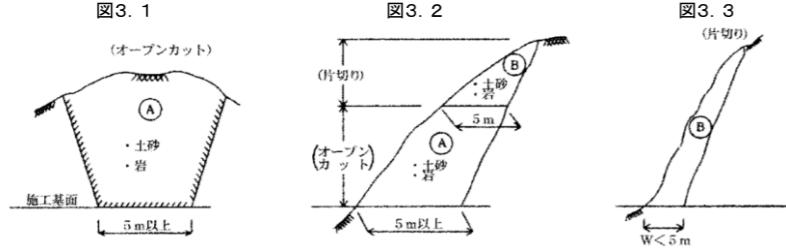
積算上の注意事項		(控え頁)
		8/23

工 種	土工
-----	----

改正理由	一部改正	改正 ----- 現行	
------	------	-------------------	--

現	行	改 正	備 考
---	---	--------	--------

(注) 1. 表3.1は、土砂、岩塊・玉石の掘削、積込み（掘削と同時に行う積込み）、運搬（掘削と同時に行う押土による運搬）、軟岩・硬岩の掘削、積込み、破砕片除去及び集積押土（積込みは含まないため、別途計上）等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
 2. 土量は、地山土量とする。
 3. 施工方法は、掘削箇所の地形により「オープンカット」、「片切り」に区分する。



- ①オープンカット
図3.1に示すような切取面が、水平もしくは緩傾斜をなすように施工が出来る場合で、切取幅5m以上、かつ延長20m以上を標準とする。
- ②片切掘削
図3.2及び図3.3に示すような切取幅5m未満の領域Bとする。なお、図3.2に示すような箇所であっても、地形及び工事量などの現場条件等を十分考慮のうえ、前述のオープンカットが可能と判断される場合はオープンカットを適用する。
- ③水中掘削
土留・仮締切工の施工条件において掘削深さが5mを超える場合、又は掘削深さが5m以内でも土留・仮締切工の切梁等のためバックホウが使用出来ない場合で水中の掘削・積込作業。
- ④現場制約あり
機械施工が困難な場合。
土砂、岩塊・玉石は、直接積込み出来ない箇所の人力による片切部分等の切崩し作業。
- ⑤上記以外（小規模）
※1 標準：1箇所当りの施工土量が100m³以下、又は100m³以上で現場が狭い場合
2 標準以外：構造物及び建造物等の障害物により施工条件が制限されるような狭い場合、又は1箇所当りの施工土量が50m³以下の場合

- 4. 押土の有無
①有り：土砂、岩塊・玉石の場合は、60mまでの運搬を含む。ただし、軟岩のオープンカットかつ掘削土量5,000m³以上を選択した場合及び硬岩のオープンカットで火薬使用「可」を選択した場合、30mまでの押土を含む。
- 5. 障害の有無
土質：土砂、岩塊・玉石の場合
①無し：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されず、連続掘削作業が出来る場合
②有り：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり（例えば作業障害が多い場合）連続掘削作業が出来ない場合。掘削深さ5m以内で掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削（溝掘り、基礎掘削）を行う場合
土質：軟岩の場合
①無し：掘削量が5,000m³未満で掘削箇所に大型ブレーカが入り作業出来る場合、もしくは掘削量が5,000m³以上の場合
②有り：掘削量が5,000m³未満で掘削箇所に大型ブレーカが入れない場合で、掘削箇所の外から作業する場合
土質：硬岩の場合
①無し：掘削箇所に大型ブレーカが入り作業出来る場合、もしくは火薬を使用する場合
②有り：掘削箇所に大型ブレーカが入れない場合で、掘削箇所の外から作業する場合

1・②・9

現行どおり	現行どおり
-------	-------

- 4. 押土の有無
①有り：土砂、岩塊・玉石の場合は、60mまでの運搬を含む。~~ただし、軟岩のオープンカットかつ掘削土量5,000m³以上を選択した場合及び硬岩のオープンカットで火薬使用「可」を選択した場合、30mまでの押土を含む。~~
- 5. 障害の有無
土質：土砂、岩塊・玉石の場合
①無し：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されず、連続掘削作業が出来る場合
②有り：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり（例えば作業障害が多い場合）連続掘削作業が出来ない場合。掘削深さ5m以内で掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削（溝掘り、基礎掘削）を行う場合
土質：軟岩の場合
①無し：掘削量が「5,000m³未満」、 「5,000m³以上7,000m³未満かつ平均施工幅員20m未満」で掘削箇所に大型ブレーカが入り作業出来る場合、もしくは掘削量が「5,000m³以上7,000m³未満かつ平均施工幅員20m以上」、 「7,000m³以上」の場合
②有り：掘削量が5,000m³未満、5,000m³以上7,000m³未満かつ平均施工幅員20m未満で掘削箇所に大型ブレーカが入れない場合で、掘削箇所の外から作業する場合

記載の変更

積算上の注意事項	(控え頁) 9/23
----------	---------------

改正理由	一部改正	改正 ----- 現行	
------	------	-------------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

6. 施工数量, 破砕片除去数量
 ①施工数量は「小規模」を除き, 1工事当りの数量とする。
 表3. 1の条件区分「施工数量」, 「破砕片除去の有無」に示す数量区分は, 1工事当りの取扱い数量で判断する。1工事当りの取扱い数量は, 掘削, 掘削(ICT), 積込(ルーズ)の施工数量を表3. 2の数量区分の規格別に「○」, 「●」及び「△」の項目を条件区分によらず全て合計した数量とする。なお, これにより難い場合は別途考慮する。

表3. 2 1工事当りの取扱い数量について

名称	条件区分					施工数量, 破砕片除去数量の数量区分				
						A	B	C	D	
掘削	土質	土砂	施工方法	押土	破砕片除去	集積押土				
			オープンカット	有	—	—	○			
	土砂	片切掘削	有	—	—		○	△		
			無	—	—				△	
	岩塊・玉石	オープンカット	有	—	—	○				
			無	—	—		○	△		
	軟岩	オープンカット	—	有	無	無		●		
				無	有	有				
		片切掘削	有	無	無		●			
			無	有	有					
	硬岩	オープンカット	—	有	無	無		●		
				無	有	有				
片切掘削		有	無	無		●				
		無	有	有						
掘削(ICT)	土砂	オープンカット	—	—	—			○		
		片切掘削	—	—	—			○		
掘削(ICT)	岩塊・玉石	オープンカット	—	—	—			○		
積込(ルーズ)	—						○			

※1. ○: 施工数量, ●: 破砕片除去数量, △: 同一の施工箇所においてICT建機と通常建機を組合せて施工する場合, 通常建機による施工分の施工数量。
 ※2. 数量区分の規格は, 以下のとおりとする。この区分で1工事当りの取扱い数量を判断する。なお, 各区分の取扱い数量は重複して合計しないこと。(例えば, 掘削[土砂, オープンカット, 押土無]において, 同一施工箇所でのICT建機との組合せによる通常建機施工の場合は, 数量区分C(上表: △)として計上し, 数量区分Bには含まない)
 A: ①30,000m3未満, ②30,000m3以上
 B: ①5,000m3未満, ②5,000m3以上10,000m3未満, ③10,000m3以上50,000m3未満, ④50,000m3以上
 C: ①5,000m3未満, ②5,000m3以上10,000m3未満, ③10,000m3以上50,000m3未満, ④50,000m3以上
 D: ①50,000m3未満, ②50,000m3以上

1・②・10

現行どおり

表3. 2 1工事当りの取扱い数量について

名称	条件区分					施工数量, 破砕片除去数量, 集積押土の数量区分					
						A	B	C	D	E	
掘削	土質	土砂	施工方法	押土	破砕片除去	集積押土					
			オープンカット	有	—	—	○				
	土砂	片切掘削	有	—	—		○	△			
			無	—	—				△		
	岩塊・玉石	オープンカット	有	—	—	○					
			無	—	—		○	△			
	軟岩	オープンカット	—	有	無	無			●		
				無	有	有			◎		
		片切掘削	有	無	無			●			
			無	有	有			◎			
	硬岩	オープンカット	—	有	無	無			●		
				無	有	有			◎		
片切掘削		有	無	無			●				
		無	有	有			◎				
掘削(ICT)	土砂	オープンカット	—	—	—			○			
		片切掘削	—	—	—			○			
掘削(ICT)	岩塊・玉石	オープンカット	—	—	—			○			
積込(ルーズ)	—							○			

1) ○: 施工数量, ●: 破砕片除去数量, ◎: 集積押土数量, △: 同一の施工箇所においてICT建機と通常建機を組合せて施工する場合, 通常建機による施工分の施工数量。
 2) 数量区分の規格は, 以下のとおりとする。この区分で1工事当りの取扱い数量を判断する。なお, 各区分の取扱い数量は重複して合計しないこと。(例えば, 掘削[土砂, オープンカット, 押土無]において, 同一施工箇所でのICT建機との組合せによる通常建機施工の場合は, 数量区分C(上表: △)として計上し, 数量区分Bには含まない)
 A: ①30,000m3未満, ②30,000m3以上
 B: ①5,000m3未満, ②5,000m3以上10,000m3未満, ③10,000m3以上50,000m3未満, ④50,000m3以上
 C: ①5,000m3未満, ②5,000m3以上10,000m3未満, ③10,000m3以上50,000m3未満, ④50,000m3以上
 D: ①50,000m3未満, ②50,000m3以上
 E: ①5,000m3未満, ②5,000m3以上

記載の変更

改正理由	一部改正	改正 ----- 現行	
------	------	-------------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

※3. 掘削（軟岩、オープンカット）は、条件区分が「軟岩」かつ施工方法「オープンカット」について合計した施工数量にて判断する（下図破線部）。ただし、「①：5,000m3未満」でかつ「b：障害無し」の（掘削箇所に大型ブレーカが入って作業が出来る）場合は、「5,000m3未満」かつ「障害無し」の施工数量によって積算条件区分を判断する（下図一点鎖線部）。

②軟岩及び硬岩の掘削、床掘りは、土質及び作業内容ごとの「施工数量」で判断する。
 ③掘削（ICT）は、同一の施工箇所において3D-MG又はMCバックホウ（以下、「ICT建機」という。）と通常建機（ICT建機を使用しない通常機種種のバックホウ）を組合せて施工する場合、両者を合計した掘削土量をその箇所の施工数量とする。
 ④施工方法「上記以外（小規模）」の施工数量における「1箇所」とは、目的物（構造物・掘削等）1箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を1箇所とする。
 ⑤湿地軟弱土での作業の施工数量は、1工事当りの取扱い土量に含めない。
 ⑥土質「軟岩」、「硬岩」における床掘平均掘削幅 2m未満の場合の破砕片除去及び積込みは、破砕片除去「無」を選択の上、「3-7 積込(ルーズ)」により別途計上する。
 ⑦掘削（土砂及び岩塊・玉石、オープンカット、集積押土無）には、掘削と同時に進行積込みを含む。

7. 火薬の標準的な使用量は、オープンカットでは1日当り含水爆薬 13.4 kg、AN-F019.5 kg、片切掘削では1日当り含水爆薬 1.8 kgとし、これにより難い場合は別途計上する。
 8. 集積押土の有無
 ①有り：集積押土の距離は 30mまでとする。
 9. 軟岩又は硬岩の場合で、盛土等に流用するための小割りに破砕が再度必要となった場合は、小割りに要する費用は別途考慮する。

1・②・11

~~※3. 掘削（軟岩、オープンカット）は、条件区分が「軟岩」かつ施工方法「オープンカット」について合計した施工数量にて判断する（下図破線部）。ただし、「①：5,000m3未満」でかつ「b：障害無し」の（掘削箇所に大型ブレーカが入って作業が出来る）場合は、「5,000m3未満」かつ「障害無し」の施工数量によって積算条件区分を判断する（下図一点鎖線部）。~~

3) 軟岩及び硬岩の掘削、床掘りは、土質及び作業内容ごとの「施工数量」で判断する。
 4) 掘削（ICT）は、同一の施工箇所において3D-MG又はMCバックホウ（以下、「ICT建機」という。）と通常建機（ICT建機を使用しない通常機種種のバックホウ）を組合せて施工する場合、両者を合計した掘削土量をその箇所の施工数量とする。
 5) 施工方法「上記以外（小規模）」の施工数量における「1箇所」とは、目的物（構造物・掘削等）1箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を1箇所とする。
 6) 湿地軟弱土での作業の施工数量は、1工事当りの取扱い土量に含めない。
 7) 土質「軟岩」、「硬岩」における床掘平均掘削幅 2m未満の場合の破砕片除去及び積込みは、破砕片除去「無」を選択の上、「3-7 積込(ルーズ)」により別途計上する。
 8) 掘削（土砂及び岩塊・玉石、オープンカット、集積押土無）には、掘削と同時に進行積込みを含む。

~~7. 火薬の標準的な使用量は、オープンカットでは1日当り含水爆薬 13.4 kg、AN-F019.5 kg、片切掘削では1日当り含水爆薬 1.8 kgとし、これにより難い場合は別途計上する。~~
 7. 集積押土の有無
 ①有り：集積押土の距離は 30mまでとする。
 8. 軟岩又は硬岩の場合で、盛土等に流用するための小割りに破砕が再度必要となった場合は、小割りに要する費用は別途考慮する。

記載の削除

改正理由	一部改正	改正 ----- 現行	
------	------	-------------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格

下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.3 掘削 代表機材規格一覧

土質	項目	代表機材規格	施工方法										水中掘削	現場制約あり	
			オープンカット					片切掘削	小規模						現場制約あり
			普通土 30,000 m3未満 又は 硬地 軟弱土	普通土 30,000 m3以上	5,000 m3 未満	5,000 m3 以上	10,000 m3 以上		50,000 m3 以上	-	小規模 (標準)	小規模 (標準 以外)			
土砂(岩塊・玉石混り土含む)	機械	ブルドーザ[湿地・排出ガス対策型(第3次基準値)] 20t級	○												
		ブルドーザ[普通・排出ガス対策型(2011年規制)] 32t級		○											
		バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)			○	○	○								
		バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 1.4m ³ (平積 1.0m ³)						○							
		バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)								○					
	労務	K2	-												
		K3	-												
		R1 運転手(特殊)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		R2 普通作業員								○					○
		R3	-												
材料	Z1 軽油 バトルール給油		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Z2	-													
	Z3	-													
	Z4	-													
市場単価	S	-													

(2) 代表機材規格

下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.3 掘削 代表機材規格一覧

土質	項目	代表機材規格	施工方法										水中掘削	現場制約あり	
			オープンカット					片切掘削	小規模						現場制約あり
			普通土 30,000 m3未満 又は 硬地 軟弱土	普通土 30,000 m3以上	5,000 m3 未満	5,000 m3 以上	10,000 m3 以上		50,000 m3 以上	-	小規模 (標準)	小規模 (標準 以外)			
土砂(岩塊・玉石混り土含む)	機械	ブルドーザ[湿地・排出ガス対策型(2014年規制)] 20t級	○												
		ブルドーザ[普通・排出ガス対策型(2011年規制)] 32t級		○											
		バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)] バケット容量 0.8m ³			○	○	○								
		バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] バケット容量 1.3~1.5m ³									○				
		バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)] バケット容量 0.28m ³										○			
	労務	K2	-												
		K3	-												
		R1 運転手(特殊)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		R2 普通作業員									○				○
		R3	-												
材料	Z1 軽油 バトルール給油		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Z2	-													
	Z3	-													
	Z4	-													
市場単価	S	-													

記載の変更

改正理由	一部改正	改正	現行
------	------	----	----

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

土質	項目	代表機材規格	施工方法											
			オープンカット				片切掘削							
			施工数量											
			5,000m ³ 未満				5,000m ³ 以上							
			破砕片除去の有無											
			無し				有り							
			集積率の有無											
			無し				有り							
軟岩	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		K2	ブルドーザ(平地・排出ガス対策型(第3次基準値)) 20t級	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		K3	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] バケット容量 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	労務	R1	特殊作業員											
		R2	運転手(特殊)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		R3	普通作業員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		R4	-											
	材料	Z1	軽油 バトルール給油	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		Z2	-											
		Z3	-											
Z4		-												
市場単価	S	-												



土質	項目	代表機材規格	施工方法													
			オープンカット						片切掘削							
			破砕片除去の有無													
			無し						有り							
			集積率の有無													
			無し						有り							
軟岩	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)] バケット容量 0.8m³ 4平積 0.6m³	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		K2	ブルドーザ(平地・排出ガス対策型(第3次基準値)) 20t級	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		K3	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] バケット容量 0.8m³ 4平積 0.6m³	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	労務	R1	特殊作業員													
		R2	運転手(特殊)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		R3	普通作業員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		R4	-													
	材料	Z1	軽油 バトルール給油	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		Z2	-													
		Z3	-													
Z4		-														
市場単価	S	-														

土質	項目	代表機材規格	施工方法										
			オープンカット				片切掘削						
			破砕片除去の有無										
			無し				有り						
			集積率の有無										
			無し				有り						
軟岩	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)] バケット容量 0.8m³ 4平積 0.6m³	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		K2	ブルドーザ(平地・排出ガス対策型(第3次基準値)) 20t級	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		K3	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] バケット容量 0.8m³ 4平積 0.6m³	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	労務	R1	特殊作業員										
		R2	運転手(特殊)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		R3	普通作業員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		R4	-										
	材料	Z1	軽油 バトルール給油	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		Z2	-										
		Z3	-										
Z4		-											
市場単価	S	-											

記載の変更

今回改訂

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

3-2 土砂等運搬
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3.4 土砂等運搬 積算条件区分一覧

(積算単位：m3)

土砂等発生現場	積込機種・規格	土質	DID区間の有無	運搬距離
標準	バックホウ山積 0.8m3 (平積0.6m3)	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.5)
			有り	(表3.6)
		軟岩	無し	(表3.5)
			有り	(表3.6)
	バックホウ山積 1.4m3 (平積1.0m3)	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.7)
			有り	(表3.8)
		軟岩	無し	(表3.7)
			有り	(表3.8)
	バックホウ山積 0.45m3 (平積0.35m3)	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.9)
			有り	(表3.10)
		軟岩	無し	(表3.9)
			有り	(表3.10)
クラムシエル 平積0.4m3 または平積0.8m3	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.11)	
		有り	(表3.12)	
	軟岩	無し	(表3.11)	
		有り	(表3.12)	
小規模	バックホウ山積 0.28m3 (平積0.2m3)	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.13)
		土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	有り	(表3.14)
現場制約あり	人力	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.17)
		土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	有り	(表3.18)

- (注) 1. 上表は、掘削工又は作業土工における土砂・軟岩・硬岩の運搬、路体・路床盛土工又は置換工等における土取場(仮置場)から採取する場合の土砂等の運搬、構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の処分場までの運搬又は掘削工で生じた残土の処分場までの運搬の他、運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛かる費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。
2. タイヤ損耗の「良好」「普通」「不良」にかかわらず適用出来る。
3. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。
4. DID (人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
5. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。
6. 運搬土量は地山の土量とする。
7. 小規模は、1箇所当りの施工土量が100m3以下、又は100m3以上で現場が狭隘な場合とする。また、構造物及び建造物の障害物により施工条件が制限されるような狭隘な場合、又は1箇所当りの施工土量が、50m3以下の場合とする。
8. 現場制約有りとはい、現場狭小のため機械搬入が不可な場合。
9. 標準とは、「小規模」、「現場制約有り」に該当しない場合。

1・②・13

3-2 土砂等運搬
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3.4 土砂等運搬 積算条件区分一覧

(積算単位：m3)

土砂等発生現場	積込機種・規格	土質	DID区間の有無	運搬距離
標準	バックホウ バケット容量 0.8m3	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.5)
			有り	(表3.6)
		軟岩	無し	(表3.5)
			有り	(表3.6)
	バックホウ バケット容量 1.3~1.5m3	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.7)
			有り	(表3.8)
		軟岩	無し	(表3.7)
			有り	(表3.8)
	バックホウ バケット容量 0.45m3	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.9)
			有り	(表3.10)
		軟岩	無し	(表3.9)
			有り	(表3.10)
クラムシエル バケット容量(平積) 0.26~0.3m3 または バケット容量(平積) 0.8m3	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.11)	
		有り	(表3.12)	
	軟岩	無し	(表3.11)	
		有り	(表3.12)	
小規模	バックホウ バケット容量 0.28m3	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.13)
		土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	有り	(表3.14)
現場制約あり	人力	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.17)
		土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	有り	(表3.18)

現行どおり

記載の変更

積算上の注意事項	(控え頁) 15/23
----------	----------------

改正理由	一部改正	改正 ----- 現行	
------	------	-------------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.19 土砂等運搬 代表機材規格一覧

土砂等発生現場	項目	代表機材規格	備考	
標準	機械	K1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	
		K2 -		
		K3 -		
	労務	R1 運転手(一般)		
		R2 -		
		R3 -		
		R4 -		
	材料	Z1 軽油 バトロール給油		
		Z2 -		
		Z3 -		
		Z4 -		
	市場単価	S -		
	小規模	機械	K1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t 積級	・積込機種・規格がバックホウ山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む
K1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t 積級			・積込機種・規格がバックホウ山積 0.13m ³ (平積 0.1m ³)の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	
K2 -				
労務		R1 運転手(一般)		
		R2 -		
		R3 -		
		R4 -		
材料		Z1 軽油 バトロール給油		
		Z2 -		
		Z3 -		
		Z4 -		
市場単価		S -		
現場制約あり		機械	K1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む
	K2 -			
	K3 -			
	労務	R1 運転手(一般)		
		R2 -		
		R3 -		
		R4 -		
	材料	Z1 軽油 バトロール給油		
		Z2 -		
		Z3 -		
		Z4 -		
	市場単価	S -		

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.19 土砂等運搬 代表機材規格一覧

土砂等発生現場	項目	代表機材規格	備考	
標準	機械	K1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]通称 10t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	
		K2 -		
		K3 -		
	労務	R1 運転手(一般)		
		R2 -		
		R3 -		
		R4 -		
	材料	Z1 軽油 バトロール給油		
		Z2 -		
		Z3 -		
		Z4 -		
	市場単価	S -		
	小規模	機械	K1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]通称 4t 積級	・積込機種・規格がバックホウ バケット容量 0.28m ³ の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む
K1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]通称 2t 積級			・積込機種・規格がバックホウ バケット容量 0.13m ³ の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	
K2 -				
労務		R1 運転手(一般)		
		R2 -		
		R3 -		
		R4 -		
材料		Z1 軽油 バトロール給油		
		Z2 -		
		Z3 -		
		Z4 -		
市場単価		S -		
現場制約あり		機械	K1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]通称 2t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む
	K2 -			
	K3 -			
	労務	R1 運転手(一般)		
		R2 -		
		R3 -		
		R4 -		
	材料	Z1 軽油 バトロール給油		
		Z2 -		
		Z3 -		
		Z4 -		
	市場単価	S -		



記載の変更

積算上の注意事項		(控え頁) 16/23
----------	--	----------------

改正理由	一部改正	改正 ----- 現行																														
現	行	改	正																													
<p>3-3 整地 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.20 整地 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残土受け入れ地での処理</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">敷均し(ルーズ)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">標準 (10,000m3未満)</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">標準以外 (10,000m3以上)</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受け入れ地(仮置場)、土取場での整地、締固めを行わない場合の土の敷均し等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 作業区分で残土受け入れ地での処理を選択した場合の土量は地山の土量とする。 3. 作業区分で敷均し(ルーズ)を選択した場合の土量は敷均し後の土量とする。なお、敷均しのための、変化率C=1.0とする。 4. 施工数量は、1工事当りの整地(敷均し(ルーズ))の土量とする。 5. 障害の有無 ①無し: 作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合(例えば、バイパス工事など、工事をするうえでの障害が少ない工事) ②有り: 作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合(例えば、現道上の工事、一車線程度の現道拡幅工事等の交通規制を伴う工事、現場が不連続、構造物等の障害) 6. 幅2.5m未満の狭隘箇所での作業は「1章⑥埋戻工(現場制約あり)」による。</p> <p style="text-align: center;">1・②・20</p>		作業区分	施工数量	障害の有無	残土受け入れ地での処理	—	—	敷均し(ルーズ)	標準 (10,000m3未満)	無し	有り	標準以外 (10,000m3以上)	無し	有り	<p>3-3 整地 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.20 整地 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残土受け入れ地での処理</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">敷均し(ルーズ)</td> <td style="text-align: center;">標準 (10,000m3未満)</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">標準以外 (10,000m3以上)</td> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">標準</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">標準以外</td> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		作業区分	施工数量	障害の有無	残土受け入れ地での処理	—	—	敷均し(ルーズ)	標準 (10,000m3未満)	無し	標準以外 (10,000m3以上)	有り	標準	無し	標準以外	有り	備考
作業区分	施工数量	障害の有無																														
残土受け入れ地での処理	—	—																														
敷均し(ルーズ)	標準 (10,000m3未満)	無し																														
		有り																														
	標準以外 (10,000m3以上)	無し																														
		有り																														
作業区分	施工数量	障害の有無																														
残土受け入れ地での処理	—	—																														
敷均し(ルーズ)	標準 (10,000m3未満)	無し																														
	標準以外 (10,000m3以上)	有り																														
	標準	無し																														
	標準以外	有り																														
積算上の注意事項		(控え頁) 17/23																														

改正理由	一部改正	改正 ----- 現行	
------	------	-------------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.21 整地 代表機材規格一覧

作業区分	項目	代表機材規格	備考	
残土受け 入れ地での 処理	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）] 山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ） 賃料	
		K 2	-	
		K 3	-	
	労務	R 1	運転手（特殊）	
		R 2	-	
		R 3	-	
		R 4	-	
	材料	Z 1	軽油 バトロール給油	
		Z 2	-	
		Z 3	-	
		Z 4	-	
	市場単価	S	-	
	敷均し (ルーズ)	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）] 山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ） 賃料
K 2			-	
K 3			-	
労務		R 1	運転手（特殊）	
		R 2	-	
		R 3	-	
		R 4	-	
材料		Z 1	軽油 バトロール給油	
		Z 2	-	
		Z 3	-	
		Z 4	-	
市場単価		S	-	

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.21 整地 代表機材規格一覧

作業区分	項目	代表機材規格	備考	
残土受け 入れ地での 処理	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）] パケット容量 0.8m³ 賃料	
		K 2	-	
		K 3	-	
	労務	R 1	運転手（特殊）	
		R 2	-	
		R 3	-	
		R 4	-	
	材料	Z 1	軽油 バトロール給油	
		Z 2	-	
		Z 3	-	
		Z 4	-	
	市場単価	S	-	
	敷均し (ルーズ)	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）] パケット容量 0.8m³ 賃料
K 2			-	
K 3			-	
労務		R 1	運転手（特殊）	
		R 2	-	
		R 3	-	
		R 4	-	
材料		Z 1	軽油 バトロール給油	
		Z 2	-	
		Z 3	-	
		Z 4	-	
市場単価		S	-	

記載の変更

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.23 路体(築堤)盛土 代表機材規格一覧

施工幅員	施工数量	項目	代表機材規格	備考		
2.5m 未満	-	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.8~1.1t	賃料		
			K2 -			
			K3 -			
		労務	R1 普通作業員			
			R2 特殊作業員			
			R3 -			
			R4 -			
		材料	Z1 軽油 バトロール給油			
			Z2 -			
			Z3 -			
			Z4 -			
		市場単価	S -			
		2.5m 以上 4.0m 未満	-	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料
K2 バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	賃料					
労務	R1 運転手(特殊)					
	R2 普通作業員					
	R3 -					
	R4 -					
材料	Z1 軽油 バトロール給油					
	Z2 -					
	Z3 -					
	Z4 -					
市場単価	S -					
4.0m 以上	20,000m ³ 未満			機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 7t 級	賃料
					K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 11~12t	賃料
		労務	R1 運転手(特殊)			
			R2 普通作業員			
			R3 -			
			R4 -			
		材料	Z1 軽油 バトロール給油			
			Z2 -			
			Z3 -			
			Z4 -			
		市場単価	S -			
	20,000m ³ 以上	機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 16t 級	賃料		
			K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 11~12t	賃料		
		労務	R1 運転手(特殊)			
			R2 普通作業員			
			R3 -			
			R4 -			
		材料	Z1 軽油 バトロール給油			
			Z2 -			
			Z3 -			
			Z4 -			
		市場単価	S -			

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.23 路体(築堤)盛土 代表機材規格一覧

施工幅員	施工数量	項目	代表機材規格	備考		
2.5m 未満	-	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.8~1.1t	賃料		
			K2 -			
			K3 -			
		労務	R1 普通作業員			
			R2 特殊作業員			
			R3 -			
			R4 -			
		材料	Z1 軽油 バトロール給油			
			Z2 -			
			Z3 -			
			Z4 -			
		市場単価	S -			
		2.5m 以上 4.0m 未満	-	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料
K2 バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)] バケット容量 0.28m ³	賃料					
労務	R1 運転手(特殊)					
	R2 普通作業員					
	R3 -					
	R4 -					
材料	Z1 軽油 バトロール給油					
	Z2 -					
	Z3 -					
	Z4 -					
市場単価	S -					
4.0m 以上	20,000m ³ 未満			機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2014年規制)] 通称 7t 級	賃料
					K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 11~12t	賃料
		労務	R1 運転手(特殊)			
			R2 普通作業員			
			R3 -			
			R4 -			
		材料	Z1 軽油 バトロール給油			
			Z2 -			
			Z3 -			
			Z4 -			
		市場単価	S -			
	20,000m ³ 以上	機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2014年規制)] 通称 16t 級	賃料		
			K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 11~12t	賃料		
		労務	R1 運転手(特殊)			
			R2 普通作業員			
			R3 -			
			R4 -			
		材料	Z1 軽油 バトロール給油			
			Z2 -			
			Z3 -			
			Z4 -			
		市場単価	S -			



記載の変更

積算上の注意事項		(控え頁)	19 / 23
----------	--	-------	---------

改正理由	一部改正	改正	
		現行	

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.25 路床盛土 代表機材規格一覧

施工幅員	施工数量	項目	代表機材規格	備考
2.5m 未満	-	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.8~1.1t	賃料
			K2 -	
			K3 -	
		労務	R1 普通作業員	
			R2 特殊作業員	
			R3 -	
			R4 -	
		材料	Z1 軽油 バトロール給油	
			Z2 -	
			Z3 -	
			Z4 -	
		市場単価	S -	
		2.5m 以上 4.0m 未満	-	機械
K2 バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	賃料			
K3 -				
労務	R1 運転手(特殊)			
	R2 普通作業員			
	R3 -			
	R4 -			
材料	Z1 軽油 バトロール給油			
	Z2 -			
	Z3 -			
	Z4 -			
市場単価	S -			
4.0m 以上	20,000m ³ 未満			機械
		K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 11~12t	賃料	
		K3 -		
		労務	R1 運転手(特殊)	
			R2 普通作業員	
			R3 -	
			R4 -	
		材料	Z1 軽油 バトロール給油	
			Z2 -	
			Z3 -	
			Z4 -	
		市場単価	S -	
		4.0m 以上	20,000m ³ 以上	機械
K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 11~12t	賃料			
K3 -				
労務	R1 運転手(特殊)			
	R2 普通作業員			
	R3 -			
	R4 -			
材料	Z1 軽油 バトロール給油			
	Z2 -			
	Z3 -			
	Z4 -			
市場単価	S -			

(2) 代表機材規格
 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.25 路床盛土 代表機材規格一覧

施工幅員	施工数量	項目	代表機材規格	備考
2.5m 未満	-	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.8~1.1t	賃料
			K2 -	
			K3 -	
		労務	R1 普通作業員	
			R2 特殊作業員	
			R3 -	
			R4 -	
		材料	Z1 軽油 バトロール給油	
			Z2 -	
			Z3 -	
			Z4 -	
		市場単価	S -	
		2.5m 以上 4.0m 未満	-	機械
K2 バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)] バケット容量 0.28m ³	賃料			
K3 -				
労務	R1 運転手(特殊)			
	R2 普通作業員			
	R3 -			
	R4 -			
材料	Z1 軽油 バトロール給油			
	Z2 -			
	Z3 -			
	Z4 -			
市場単価	S -			
4.0m 以上	20,000m ³ 未満			機械
		K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 11~12t	賃料	
		K3 -		
		労務	R1 運転手(特殊)	
			R2 普通作業員	
			R3 -	
			R4 -	
		材料	Z1 軽油 バトロール給油	
			Z2 -	
			Z3 -	
			Z4 -	
		市場単価	S -	
		4.0m 以上	20,000m ³ 以上	機械
K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 11~12t	賃料			
K3 -				
労務	R1 運転手(特殊)			
	R2 普通作業員			
	R3 -			
	R4 -			
材料	Z1 軽油 バトロール給油			
	Z2 -			
	Z3 -			
	Z4 -			
市場単価	S -			

記載の変更

積算上の注意事項			(控え頁) 20/23
----------	--	--	----------------

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

3-6 押土（ルーズ）
 (1) 条件区分
 条件区分は、次表を標準とする。

表3.26 押土(ルーズ) 積算条件区分一覧
 (積算単位：m3)

土質
土砂
岩塊・玉石
破碎岩

(注) 1. 上表は、ルーズな状態の土砂、岩塊・玉石、破碎岩の集積押土や押土による運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
 2. 土量は地山土量とする。

(2) 代表機材規格
 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.27 押土(ルーズ) 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 20t 級	
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	運転手(特殊)	
	R 2	—	
	R 3	—	
	R 4	—	
材料	Z 1	軽油 バトロール給油	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

1・②・26

3-6 押土（ルーズ）
 (1) 条件区分
 条件区分は、次表を標準とする。

表3.26 押土(ルーズ) 積算条件区分一覧
 (積算単位：m3)

土質	施工数量
土砂	5,000m3未満
	5,000m3以上
岩塊・玉石	5,000m3未満
	5,000m3以上
破碎岩	5,000m3未満
	5,000m3以上

(注) 1. 上表は、ルーズな状態の土砂、岩塊・玉石、破碎岩の集積押土や押土による運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
 2. 土量は地山土量とする。

(2) 代表機材規格
 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.27 押土(ルーズ) 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 通称 7t 級	・施工数量 5,000m3 未満の場合
		ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2014年規制)] 通称 20t 級	・施工数量 5,000m3 以上の場合
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	運転手(特殊)	
	R 2	—	
	R 3	—	
	R 4	—	
材料	Z 1	軽油 バトロール給油	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

記載の変更

積算上の注意事項		(控え頁) 21 / 23
----------	--	------------------

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

3-7 積込(ルーズ)
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3.28 積込(ルーズ) 積算条件区分一覧
(積算単位:m3)

土質	作業内容
土砂	土量50,000m3未満
	土量50,000m3以上
	平均施工幅1m以上2m未満
	小規模(標準)
岩塊・玉石	土量50,000m3未満
	土量50,000m3以上
破碎岩	平均施工幅1m以上2m未満
	土量50,000m3未満
	土量50,000m3以上

- (注) 1. 上表は、路体(築堤)盛土、路床盛土、電線共同溝工事等における土取場(仮置場)から採取する場合の土砂等の積込み、掘削工又は作業土工で生じた残土の仮置場での積込み等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。
2. 土量は地山土量とする。
3. 土量は1工事当りの数量とする。また、1工事当りの数量の取扱い、表3.2によるものとする。
4. 「(標準)」とは1箇所当りの施工土量が100m3以下、又は100m3以上で現場が狭隘な場合とする。また、「(標準以外)」とは構造物及び建造物等の障害物により施工条件が制限されるような狭隘な場合、又は1箇所当りの施工土量が、50m3以下の場合とする。
5. 岩石の床掘平均掘削幅2m未満の場合の積込み(ルーズ)は、平均施工幅1m以上2m未満を適用する。

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.29 積込(ルーズ) 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(2014年規制)]山積0.8m3(平積0.6m3)	作業内容が土量50,000m3未満の場合
	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積1.4m3(平積1.0m3)	作業内容が土量50,000m3以上の場合
	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.45m3(平積0.35m3)	作業内容が平均施工幅1m以上2m未満の場合
	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.28m3(平積0.2m3)	作業内容が小規模(標準)の場合
	小型バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.13m3(平積0.10m3)	作業内容が小規模(標準以外)の場合
	K2	-
K3	-	
労務	R1	運転手(特殊)
	R2	-
	R3	-
	R4	-
材料	Z1	軽油 バトロール給油
	Z2	-
	Z3	-
	Z4	-
市場単価	S	-

現行どおり

表3.29 積込(ルーズ) 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(2014年規制)]バケット容量0.8m3	作業内容が土量50,000m3未満の場合
	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(2014年規制)]バケット容量1.3~1.5m3	作業内容が土量50,000m3以上の場合
	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)]バケット容量0.45m3	作業内容が平均施工幅1m以上2m未満の場合
	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)]バケット容量0.28m3	作業内容が小規模(標準)の場合
	小型バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)]バケット容量0.13m3	作業内容が小規模(標準以外)の場合
	K2	-
K3	-	
労務	R1	運転手(特殊)
	R2	-
	R3	-
	R4	-
材料	Z1	軽油 バトロール給油
	Z2	-
	Z3	-
	Z4	-
市場単価	S	-

記載の変更

積算上の注意事項	(控え頁) 22/23
----------	----------------

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行	
------	------	----------------	--

現 行	改 正	備 考																																																																																																																																		
<p>3-9 転石破碎 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.32 転石破碎 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">火薬使用の有無</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">無し</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">有り</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、道路、河川工事等の岩掘削に伴う転石破碎の他、火薬・雷管、さく岩機損料及びさく岩機用空気圧縮機の運転経費、さく岩機のロッド・ビット及びチゼルの損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 転石の掘出し、破碎石の除去は含まない。 3. 転石粒径が0.5m以上、及び作業範囲が施工幅4.0m以上の箇所、機械走行面より上下に5.0m以内の場合は、火薬使用の有無「無し」を適用する。 4. 転石粒径が1.0m以上で、作業範囲が施工幅4.0m未満又は機械走行面より上下に5.0m超の場合は、火薬使用の有無「有り」を適用する。 5. 火薬の標準的な使用量は、10m³当り含水爆薬1.6kgとする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.33 転石破碎 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>火薬使用の有無</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">無し</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>大型ブレーカ（ベアマシン含まず）〔油圧式〕質量1,300kg級</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手（特殊）</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">有り</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>さく岩工</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	火薬使用の有無	無し	有り	火薬使用の有無	項目	代表機材規格	備考	無し	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	K2	大型ブレーカ（ベアマシン含まず）〔油圧式〕質量1,300kg級	K3	—	労務	R1	運転手（特殊）	R2	—	R3	—	R4	—	材料	Z1	軽油 バトロール給油	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	有り	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	さく岩工	R2	特殊作業員	R3	土木一般世話役	R4	普通作業員	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p style="color: red;">3-9 転石破碎 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center; color: red;">表3.32 転石破碎 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; color: red;"> <tr><td style="text-align: center;">火薬使用の有無</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">無し</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">有り</td></tr> </table> <p style="color: red;">(注) 1. 上表は、道路、河川工事等の岩掘削に伴う転石破碎の他、火薬・雷管、さく岩機損料及びさく岩機用空気圧縮機の運転経費、さく岩機のロッド・ビット及びチゼルの損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 転石の掘出し、破碎石の除去は含まない。 3. 転石粒径が0.5m以上、及び作業範囲が施工幅4.0m以上の箇所、機械走行面より上下に5.0m以内の場合は、火薬使用の有無「無し」を適用する。 4. 転石粒径が1.0m以上で、作業範囲が施工幅4.0m未満又は機械走行面より上下に5.0m超の場合は、火薬使用の有無「有り」を適用する。 5. 火薬の標準的な使用量は、10m³当り含水爆薬1.6kgとする。</p> <p style="color: red;">(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center; color: red;">表3.33 転石破碎 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; color: red;"> <thead> <tr> <th>火薬使用の有無</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">無し</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>大型ブレーカ（ベアマシン含まず）〔油圧式〕質量1,300kg級</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手（特殊）</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">有り</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>さく岩工</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	火薬使用の有無	無し	有り	火薬使用の有無	項目	代表機材規格	備考	無し	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	K2	大型ブレーカ（ベアマシン含まず）〔油圧式〕質量1,300kg級	K3	—	労務	R1	運転手（特殊）	R2	—	R3	—	R4	—	材料	Z1	軽油 バトロール給油	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	有り	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	さく岩工	R2	特殊作業員	R3	土木一般世話役	R4	普通作業員	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	記載の削除
火薬使用の有無																																																																																																																																				
無し																																																																																																																																				
有り																																																																																																																																				
火薬使用の有無	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																	
無し	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）																																																																																																																																	
		K2	大型ブレーカ（ベアマシン含まず）〔油圧式〕質量1,300kg級																																																																																																																																	
		K3	—																																																																																																																																	
	労務	R1	運転手（特殊）																																																																																																																																	
		R2	—																																																																																																																																	
		R3	—																																																																																																																																	
		R4	—																																																																																																																																	
	材料	Z1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																	
		Z2	—																																																																																																																																	
		Z3	—																																																																																																																																	
Z4		—																																																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																																																		
有り	機械	K1	—																																																																																																																																	
		K2	—																																																																																																																																	
		K3	—																																																																																																																																	
	労務	R1	さく岩工																																																																																																																																	
		R2	特殊作業員																																																																																																																																	
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																	
		R4	普通作業員																																																																																																																																	
	材料	Z1	—																																																																																																																																	
		Z2	—																																																																																																																																	
		Z3	—																																																																																																																																	
Z4		—																																																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																																																		
火薬使用の有無																																																																																																																																				
無し																																																																																																																																				
有り																																																																																																																																				
火薬使用の有無	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																	
無し	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）																																																																																																																																	
		K2	大型ブレーカ（ベアマシン含まず）〔油圧式〕質量1,300kg級																																																																																																																																	
		K3	—																																																																																																																																	
	労務	R1	運転手（特殊）																																																																																																																																	
		R2	—																																																																																																																																	
		R3	—																																																																																																																																	
		R4	—																																																																																																																																	
	材料	Z1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																	
		Z2	—																																																																																																																																	
		Z3	—																																																																																																																																	
Z4		—																																																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																																																		
有り	機械	K1	—																																																																																																																																	
		K2	—																																																																																																																																	
		K3	—																																																																																																																																	
	労務	R1	さく岩工																																																																																																																																	
		R2	特殊作業員																																																																																																																																	
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																	
		R4	普通作業員																																																																																																																																	
	材料	Z1	—																																																																																																																																	
		Z2	—																																																																																																																																	
		Z3	—																																																																																																																																	
Z4		—																																																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																																																		

積算上の注意事項		(控え頁) 23 / 23
----------	--	------------------